

大型クラゲ情報

日本海、陸奥湾湾口部、太平洋で1,000個以上の入網が続く

(1) 県内の出現状況 (水産振興課・各水産事務所・普及所調べ、10月21日現在)

- ・ 県内各海域の定置網等への入網状況は下表のとおり。
- ・ 太平洋は北部・南部ともに1,000個を超える入網が続いています。太平洋南部では、定置網の破損や、刺網の設置を見合わせている地域があります。
- ・ 日本海では、深浦町全域で1,000個を超える入網が続いています。一部定置網では、タモ網にワイヤーを入れる等、効率的に駆除するための漁具改良を講じています。
- ・ 陸奥湾湾口部でも脇野沢で1,000個以上の入網があります。
- ・ 傘の大きさは県内全域で30cmから150cmと幅があります。

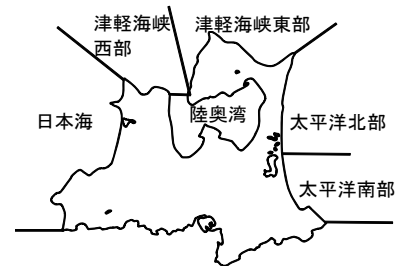


表 大型クラゲの出現状況 (定置網等の1ヶ統あたりの入網数)

日/海域	日本海	陸奥湾(湾口部)	海峡東部	太平洋北部	太平洋南部
10月15日	100~1,000以上	1,000	236~395	1,000以上	50~1,000以上
10月16日	40~1,000以上	800~1,000以上	149~265	1,000以上	30~1,000以上
10月17日	1,000	-	58~300	1,000以上	50~1,000以上
10月18日	20~1,000以上	-	-	300~1,000以上	1,000以上
10月19日	10~1,000以上	100	40~258	1,000以上	40~1,000以上
10月20日	5~10	-	64~67	1,000以上	20~100
10月21日	-	-	27~67	800	20~40

(2) 出現予測 (独立行政法人水産総合研究センター、10月19日発表、10月下旬~11月上旬の予測)

- ・ 日本海の能登以東海域について、沖合域に大型クラゲが相当量分布していること、また能登以西海域から大型クラゲが輸送され、今後出現量が増加する恐れがあります。
- ・ 日本海から津軽海峡には、今後も引き続き相当量の大型クラゲが流入してくることが考えられます。また、太平洋東北沿岸では津軽暖流が岸に沿って南下していますので、大型クラゲの濃密な分布域はさらに南下する可能性があります。

(3) 駆除の状況 ((地独) 県産業技術センター水産総合研究所、青森県定置漁業協会、県漁連、JAFIC、10月21日現在)

- ・ (地独) 県産業技術センター水産総合研究所では、10月16日、同所の試験船により、本県太平洋北部海域(右図)で大型クラゲ洋上駆除試験を実施しました。この日は、20m以浅、特に10m前後の浅い水深帯で多くの大型クラゲが確認されました。
- ・ 本県日本海及び太平洋の定置網や本県太平洋の底建網等で引き続き駆除を実施しています。
- ・ 北海道や岩手県の定置網の他、兵庫県の沿岸で底曳網による駆除が実施されています。

